

電動モビリティシステム専門職大学  
教育課程連携協議会議事録

第2回 令和6年3月8日

議事：令和5年度教育課程の実施状況について

令和6年度教育課程の編成について

審議内容

学部長から、令和5年度教育課程及び令和6年度教育課程の編成について、資料に基づき説明があり、概ね以下のような協議を行った。(○学外委員発言、・大学発言)

○今年度実際に自動車販売店で行われた臨地実務実習はどうであったか。

・本学の実習内容の説明不足から、受入先にご迷惑をかける結果となった。来年度からは、内容について大学と受入企業とでしっかり話し合いが必要である。

○モビリティ大学の特色の1つとして1年次から研究室に所属できることが挙げられるが、現状や実績はどうか。

・学生がそれぞれ希望した研究室に所属してキャリアプランに合わせて担当教員と試行錯誤しながら学習している。

○素晴らしいカリキュラムなので、是非多くの学生に入学して学んでもらいたい。産学連携について現状はどうか。

・本学の認知度をあげるPR活動が必要だと感じている。産学連携については、既に複数の教員が企業と共同研究等を進めていて、文部科学省の科研費にも応募している。今後も積極的に進めていく方針である。

○社会人入学や企業に向けた公開講座、人材育成の場の提供等はどうか。

・聴講生やリスキリングは来年度から徐々に受入れていけたら良いと考えている。勉強会などについても積極的にできるチャンスをつくっていきたい。その際は是非地域の方々に御協力願いたい。

学長への報告・意見を踏まえた対応

審議内容は、学部長から学長に報告し、委員の皆様の貴重な意見を参考にし、より良い大学になるよう取り組んでいくこととした。